

講座番号 D11	講座名：
	仙台・水辺の郷土学講座
講師名： 東北文化学園大学 工学部 八十川 淳	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
			○	○	○

実施会場	<ul style="list-style-type: none"> ・たまきさんサロン ・受講団体が準備（教室、講義室など） ・希望により現地散策も
------	--

対応人数	(講義) 10人～300人程度 (活動) 20人まで
所要時間	(講義) 60分～120分程度 (活動) 120分程度
受講者が準備するもの	(講義) プロジェクター、スクリーン等 (活動) 散策に適した服装等

参考教科 ※1	総合学習
参考 SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となるSDGsのゴール

講座内容	<p>私達の先人は自らの足元に繋がる地形と環境の「水土」を見極めて、暮らしや地域社会を創造し、歴史を拓いてきました。町なか水路の痕跡を辿ることで、これに係る人々や地域史・生活史を確認し、われわれの都市と暮らしについて、再考しましょう。</p> <p>①失われた水辺と生き存える湧水たち（街中の水環境）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四ツ谷用水の本流の物語 ○へくり沢と鶏沢、国見-八幡町の水辺 ○北山の湧水たちと北九番丁川（梅田川の源流） ○清水小路と清奇園、城下町の湧水たちとせせらぎの今 ○下水道の仕組み 等 <p>②広瀬川と仙台平野の再発見！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広瀬川の川幅は？川筋は？ ○明治-大正期の「広瀬川」を探る ○六郷堀と七郷堀、孫兵衛堀 ○梅田川と小鶴池 ○農業水利と自然河川、都市下水 等
講師よりコメント	<p>地形の制約に従った古来の都市づくりでは、「自然」と「人為」が折り合う無数の見所が形成されていました。残念ながら、現代、その多くが失われました。残された土地の息吹、潜在的な景観資産の再発見から地域づくりを考えましょう。</p>
備考	<p>実施時期：11月まで（活動の場合）</p> <p>①や②の詳細については、受講対象者にあわせて相談に応じます。</p>